

……… 性感染症 ………

(STI=Sexually Transmitted Infection)



「自分だけは大丈夫」という考えはやめよう



気をつけて！

一度のセックスでも感染する危険性があります。

性感染症なんて自分には関係ない、自分は大丈夫と思っていませんか？
ただ一度のセックスで妊娠することがあるように、相手が性感染症にかかっている場合、
1回のセックスでも感染する危険性があります。

- キスやオーラルセックス(フェラチオ)で感染することもあります
- 1回のセックスで感染する場合もあります
- 自分が気づかぬまま、知らずに相手に感染させることもあります
- 女の子が感染しているケースが増えています
- 女の子が感染すると不妊症や異常妊娠の原因になることがあります
- 感染しても自覚症状のわかりにくい性器クラミジア感染症が増えています

しかし、性感染症は正しい知識があれば自分自身で防ぐことができます。



予防にはコンドーム

性感染症は予防ができます。

しかし、ここで勘違いしてはいけないことは避妊法と予防法は必ずしも同じではないということです。

避妊法には、避妊には効果的であっても性感染症の予防にはほとんど効果がないものが多いのです。

また、効果があっても100%ではありません。



★コンドームの正しい使用の仕方（正しく使用しないと予防に効果はありません。）

○コンドームは粘膜と体液(精液・膣分泌液)の接触を避けるためには最も有効な防具ですが、右のことに注意しながら正しく使うことが大切です。

※傷つけると破れることがあるので丁寧に扱う

※一度使用したコンドームは捨てる

※摩擦の多い、財布や定期入れなどに入れない

※保管時は高温、日光、防虫剤を避ける

※使用期限を守る



①爪を立てないようにして精液だめの空気をぬく



②勃起したペニスの皮を根元までたぐりよせる



③コンドームを途中まで巻きおろす



④かぶせた部分を亀頭部分によせ、根元であまっている皮膚がはるようにしてコンドームを根元までおろす



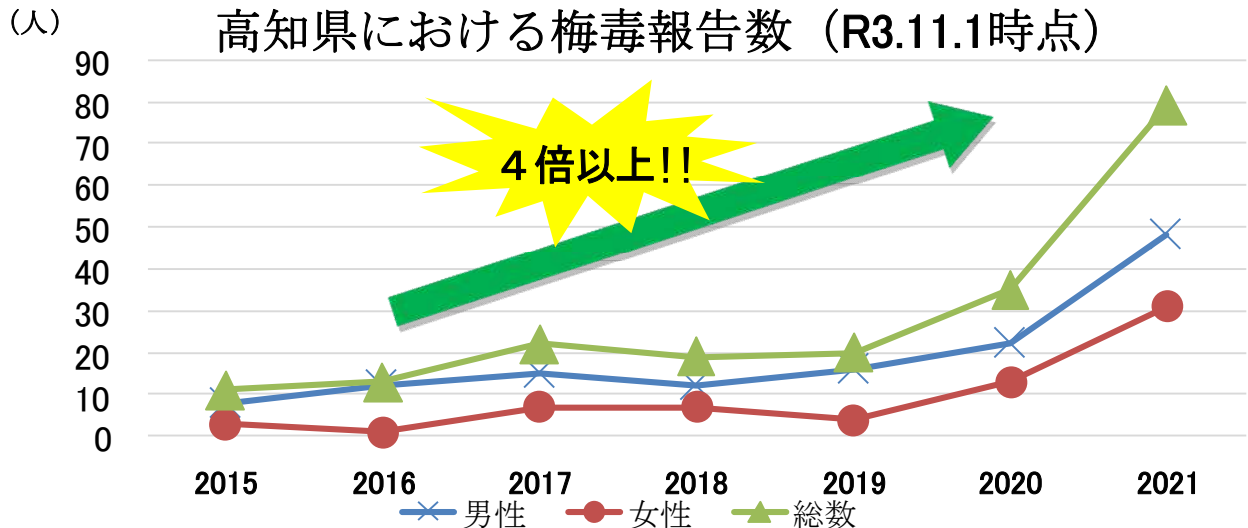
⑤射精したら、コンドームがはずれないように根元をおさえながらペニスをぬく

⑥口をしばって捨てる



◆梅毒

梅毒は性感染症の一種で、「過去の病気」のように思われるかもしれませんが、近年、国内での梅毒患者の患者報告数が増加しており、高知県でも2019年には年間20例でしたが、2021年は11月1日時点ですでに79例の報告があり4倍以上に急増しています。



1) 原因

梅毒トレポレーマという細菌が原因です。

2) 症状

感染すると、感染部位（性器など）にしこりができたり、全身に赤い発疹（バラ疹）が出たりします。症状が無いこともあります。治療しないでいると病気が進行し、数年後に心臓、血管、脳など複数の臓器の障害につながる場合があります。

3) 感染しないために注意すること

- * 性行為の際にコンドームを使用することで感染のリスクを減らすことができます。
- * 不特定多数の相手との性的接触は感染リスクを高めます。
- * 梅毒は治療が終了しても何度でも感染する病気です。治療終了後も適切な予防策（コンドームの使用、パートナーの治療等）を行いましょう。

4) 感染したかも知れないと不安な方

症状がある場合は、皮膚科・泌尿器科・産婦人科などを受診し、治療を受けましょう。感染しても、早く発見し、適切に治療すれば治ります。パートナーも一緒に検査を受け、感染していたら治療することが重要です。感染の可能性があった日から十分な期間（約1ヶ月）をおいて、血液検査を受けましょう。



5) 感染したかも知れないと不安な方

県内の各福祉保健所では、無料・匿名の血液検査を行っています。感染したのではないかと不安な方は、ぜひご利用ください。

※HIV、クラミジア（高知市保健所を除く）と同時検査可能（事前予約制）

出典：高知県健康対策課

「梅毒が急増しています！～自分や大切な人を守りましょう～」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2021070500458.html>

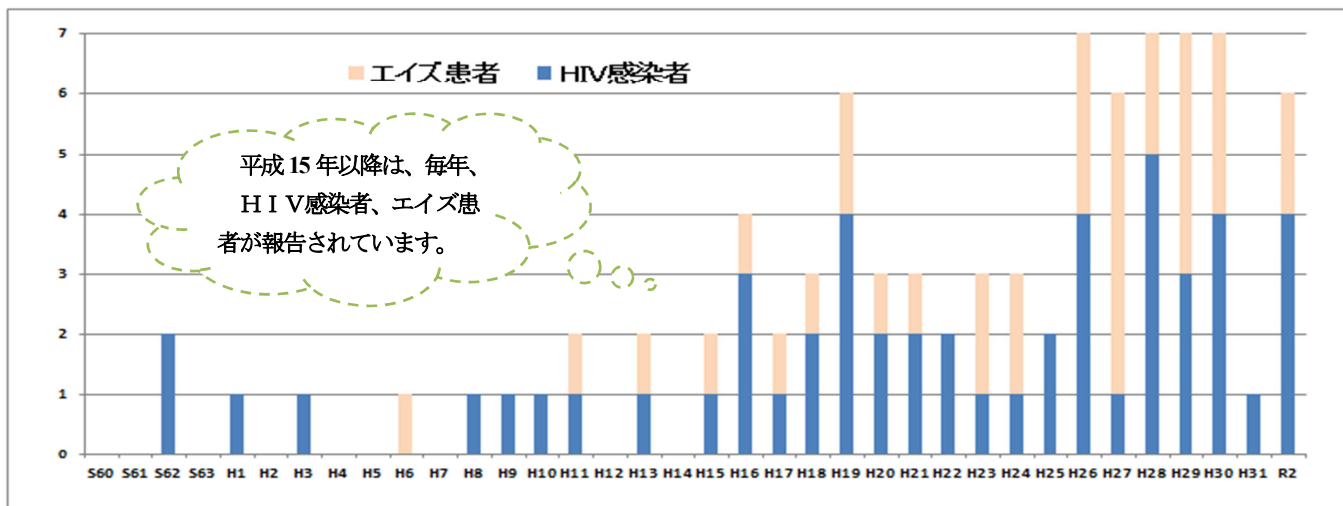
◆エイズ（AIDS：後天性免疫不全症候群）

エイズはHIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによって起こります。感染経路も予防方法も分かっています。感染しても適切な治療を受ければ日常生活を送ることができます。しかし放置すれば死に至る病気です。エイズのことで、よくある疑問や不安を解決して、感染を予防し、また共に生活していくために、エイズを正しく理解しましょう。

■HIV感染者・エイズ患者の動向

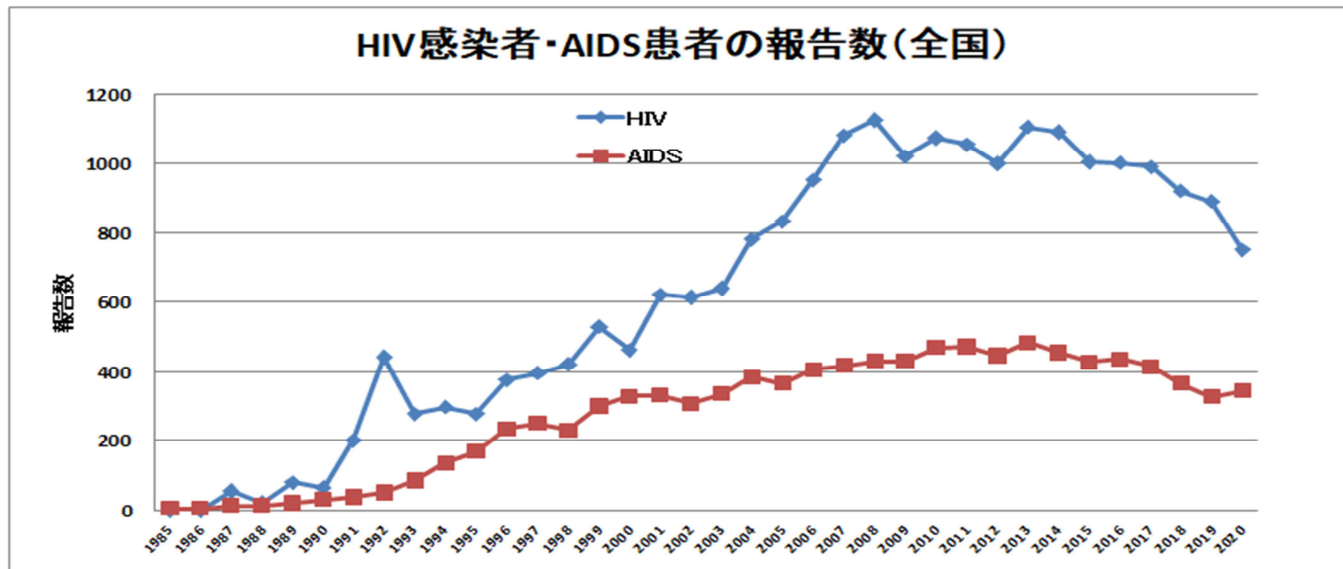


○高知県では、昭和62年以降、HIV感染者・エイズ患者として届けられた累計数は、HIV感染者52件、エイズ患者37件の合計89件です。（R3. 3）



出典：高知県健康対策課

○全国のHIV感染者およびAIDS患者の年次推移



出典：令和2年エイズ発生動向年報

■主な感染経路は3つです



性行為による感染

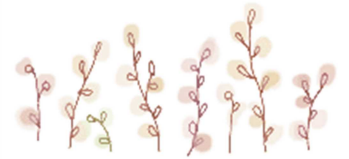
血液を介しての感染

母親から赤ちゃんへの母子感染

■エイズに関する Q & A



(エイズ予防情報ネット「エイズQ&A」より抜粋)



Q1 HIVはエイズと診断されていない感染者からもうつるのでしょうか。

A1 うつります。HIVはHIV感染者の血液・精液などに含まれていますから、これらが直接からだの中に入れば感染する可能性はあります。

Q2 感染した人を刺した蚊に刺されても大丈夫ですか。

A2 大丈夫です。HIVは蚊の体内で急速に感染力を失ううえ、前の人の血液が次の人に注入される可能性がないため、蚊によって感染することはありません。

Q3 他の人の使用したカミソリや歯ブラシを使うとHIVに感染しますか。

A3 カミソリなどに血液が付着していなければ心配ありません。ただし、いろいろな感染を防ぐためにも、血液のつきやすいカミソリ、歯ブラシ、タオルなど日用品はそれぞれ自分のものを使うようにしましょう。

Q4 感染者が使用した洋式トイレの便座に座っても安全でしょうか。

A4 心配ありません。HIVは感染力が弱く、性行為以外の日常生活で感染する可能性はまずありません。トイレの便座にかぎらず、お風呂やプール、つり革、手すりなどからも感染しません。

Q5 軽いキスで感染する可能性はありますか。

A5 相手の口の中に出血がないかぎり、キスで感染する可能性がありません。



Q6 コンドームは100%安全ですか。

A6 正しく使用すれば安全です。ただし直前につけるのではなく、性行為のはじめから終わりまでつけておく必要があります。コンドームの破損にも注意してください。コンドームの使用は梅毒やクラミジアなどの性感染症の予防にも役立ちます。

Q7 いま、特定のパートナーがいます。この特定のパートナーだけとの性行為なら、感染の心配はないでしょうか。

A7 いろいろな状況が考えられます。まずいまつきあっているパートナーが「ひとり」でも、そのパートナーが過去につきあっていた人の中にHIV感染のした人がいれば、パートナーが感染している可能性があります。その場合は、パートナーとの性行為のときに、あなたが感染予防の行動をとらなければHIV感染の可能性があります。

また、あなた自身が「いま」パートナーを特定していても、過去につきあった人の中にHIV感染者がいれば、感染予防をしてこなかった場合、HIVに感染している可能性があります。



Q8 クラミジアにかかっていると HIV に感染しやすくなるのは本当ですか。

A8 本当です。

クラミジアにかぎらず、梅毒や淋病（りんびょう）、性器ヘルペス感染症などの性感染症にかかると、性器の粘膜が壊れて HIV に感染しやすくなります。このため、性行為ではコンドームを正しく使用することが大切です。コンドームの正しい使用は HIV に限らず、それ以外の性感染症予防にとっても有効な手段です。

Q9 検査はどのタイミングで受けたらよいのでしょうか。

A9 感染の有無をはっきり確認したいときは、感染の可能性があつて3か月以上たつてから検査を受け、「陰性」と出た場合は感染していないと考えられます。

Q10 検査を受けたいが、名前は知られたくありません。どうすればよいのでしょうか。

A10 保健所では名前を知らせずに検査を受けることができます。検査結果は1～2週間ぐらいで分かります。

◆高知県は福祉保健所や高知市保健所で匿名（名前を言わなくてよい）、無料で検査ができます。心配な時は早く検査を受けましょう。
（高知県の検査機関：「HIV・クラミジア検査日一覧表」参照）



*** ◆関連サイト ***

○「エイズ予防情報ネット（API-Net）」

全国の自治体の相談・検査窓口一覧のほか、エイズに関するさまざまな情報を紹介しています。

<http://api-net.jfap.or.jp/>

○「HIV検査・相談マップ」

全国の検査機関・日時などを紹介しています。

<http://www.hivkensa.com/>

○国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

「一般の皆様へ」の項目に、HIVの病気の基礎知識や薬剤リストの情報を掲載しています。

<http://www.acc.go.jp/>

○HIVマップ

すぐに役立つHIVの総合情報サイト

<http://www.hiv-map.net/>